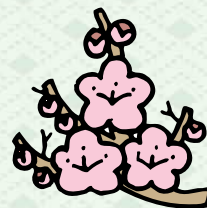


新年に期待を込めて ペッタン ペッタン

12月26日、恒例行事の「もちつき会」がかみこあに保育園で行われました。園児のおじいさん、おばあさん、地域のボランティアの協力を得て、昔ながらの杵と臼でもちつきを体験しました。アツアツの蒸しあがった真っ白なもち米が臼に入ると、みんな興味津々で見入っていました。もち米を杵でこねて準備ができると、小さい園児が大人の力を借りて杵を大きく持ち上げ、もちをつくたびに「よいしょ！よいしょ！」と掛け声がかかりました。次に、はっぴ姿の年長児が一人で杵を持って果敢にもちつきに挑戦しました。つきあがったもちは、小さな手を真っ白にしなが、みんなで丸めておいしくいただきました。

主な内容

2P～3P	新年のあいさつ
4P～6P	主な出来事
10P～11P	生涯学習センターだより
13P	下水道料金値上げのお知らせ
14P～15P	申告相談



新年のご挨拶

上小阿仁村長 中 田 吉 穂

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、平成25年の輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は村民の暖かいご理解と格別なご支援により、2年目の村政を推進することができ、心から感謝を申し上げます。

さて、平成24年を振り返ってみますと、1月から大雪となり、危険家屋の対応に追われ、3月末にはダム放流によって流域に避難勧告が出され、4月には突風のため農業施設などに被害が発生しました。また、この夏の暑さと雨不足は小規模水道の水枯れなど、自然環境によって大きな影響を受けました。

こうした中、地域に人を呼び寄せる企画として、新潟県の十日町市周辺で行なわれてきた、「大地の芸術祭」を秋田公立美術工芸短大の芝山准教授や県の協力を得て、7月29日から51日間、八木沢集落周辺において飛び地開催を行ない

ました。先立って行なわれたワークショップには160人が駆けつけ、会場作りに汗を流していただきました。ボランティアとして参加してくださった多くの村民のご支援に心から感謝申し上げます。

イベント期間中は、連日の猛暑に関わらず、県内外から9000人を超える人々が訪れ、大地の芸術祭を見て、感じて、そしてゆったりとした時間の流れを心豊かに感じていただくことができました。山深い八木沢には、整った観光施設もなく、里山の持つ風景と自然と暮らす集落、若い芸術作家との交流や共同制作のアート作品が展示されました。また、地域の伝統芸能などの多彩な催しで、村の魅力を感じていただきたい。そんな思いでこの事業に挑戦し、村のよさを発信できたと思っております。多くの失敗や不備もありましたが、「体験こそ得るものがあり」。その教訓を様々な分野に生かしていかねばなりません。

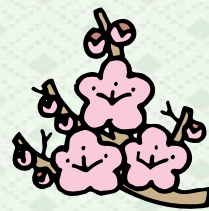
平成25年においても「地域のい

いもの探し」で、第2弾KAMI K O A N Iプロジェクト開催に向け、意欲を燃やしております。

年々人口が減少し、活力が低下していく中、新たな交流人口を計っていくことは、地域に元氣を与え、足元を見つめ直して「地域の持つ宝」の発見につながるものではないでしょうか。村民の皆様が誇れる村の顔となり、一人ひとりが持っている能力や個性を發揮しながら、個性的な協働のむら作りを進めてまいりたいと考えております。

村の豊かな森林資源の活用と林道整備、農林業後継者の育成、雇用の確保、医療や教育環境の充実、既設施設の更新など課題は山積しておりますが、持続可能な地域社会を目指して先送りせず、取り組んでまいります。

迎えた本年が皆様にとりまして、幸多き力強い年となりますよう願いを込め、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



あけまして おめでとうございます

上小阿仁村議会議長 武石善治

昨年は、慌ただしい師走の衆議院総選挙、結果、自民公明両党で3分の2の議席で決着、今年こそは政権も安定させ国民の意識を尊重した国政に専念してほしい。党利党略の国会は国民の目が厳しいものであることを念頭に、与野党問わず国民の幸せを願った年であることを願ってやみません。

東日本大震災から2年目、いまだ死者、行方不明者1万8600人超、避難者32万4858人超、犠牲者や避難者の心情を思うと一刻も早い復興を願ってやみません。こうした中であって、我が村の存続に多大な功績を残された元村長北林孝市氏は、昨年11月7日に帰天されました。心からご冥福をお祈りするとともにご遺族から若者や地域に役立ててほしいと、多額のご寄附がありました。故人のご遺志を尊重し台湾姉妹都市との交流を通じて若い世代の視野を拡大し地域社会に役立ててほしいとのこと、有効活用を期待するものであります。

さて、村の人口減少は高齢化率全県第一位の44・24%、村の基幹産業である農林業の不振で財政

力は弱く、多くは国からの地方交付税に依存しています。自主財源の確保、職員の適正化等々村は強力な財源確保が求められています。昨年文化勲章を受章した映画監督山田洋次監督と言えば「寅さん映画」でお馴染みであるが、人間愛、家族愛を描きつづけ、私たちに何かほっとするものを与えてくれます。

山田監督は、子供は減少し、お年寄りが増え、景気が閉塞して家族団欒も崩壊、生活が豊かになつたとはいえ、今、日本人が一番考えなければならぬことは、本当の幸せとは何か、東日本大震災以来、暮らしの中での節電、モノを粗末にしないことや家族が仲良くする事を感じたのではないでしょうか。若い人たちが子供を産みたいと言う意識を国政の場で真剣に議論しなければなりません。『強い国を作る』と言うことは間違っている。文化豊かな尊敬される国をつくることに国は積極的にならなければなりません。と述べています。

日本は領土問題をはじめ、原発、TPP（環太平洋経済連携協定）、社会保障一体改革、消費税と多く

の課題をかかえています。国家国民のために党派をこえて建設的な議論を展開してほしいと思うものであります。戦争を国家紛争の解決手段とせず、言葉や武器に、言葉の交渉こそが安全保障の武器と考えるが、村民各位におかれましては如何に、我が身も含め真剣に考えたいものと存じます。

昨年、我が村は大地の芸術祭に取り組み、中田村政にとっては手探りの中、20名足らずの八木沢集落到に9000人を超える観光客が訪れたことは、努力すれば活路が開ける結果であろうと思います。今後においても真剣に取り組めば必ず道は開けると信じます。経費節減、農林業の充実、財源確保においても村職員の総力を結集し積極的に議会に提案されることを期待するものであります。我が村議会としても村当局に負けないくらい議論を深め、村づくりに貢献したいと心に誓うものであります。新しい年は健康第一に、何か一つ趣味を生かして穏やかな年であることを願ってあいさつといたします。

上小阿仁村 功労者表彰式

ご功績を讃え5氏を表彰

12月21日、生涯学習センターで上小阿仁村功労者表彰式が開催されました。

各般の分野でご活躍された5氏の方々に対し、村長から表彰状と目録が贈られました。

式典では、中田村長、武石議長から受賞者のご功績を讃えるあいさつがあったあと、受賞者を代表して清水俊一氏が謝辞を述べられ、今後ますますの村政発展を誓いました。

【自治功労者】



清水 俊一 氏

- ◇昭和36年4月～平成11年12月
上小阿仁村吏員
- ◇平成11年12月～平成19年3月
上小阿仁村助役
- ◇平成19年4月～同年4月
上小阿仁村副村長
- ◇平成20年4月～現在
上小阿仁村体育協会会長
- ◇平成23年4月～現在
大海部落会長（行政協力員）

・表彰歴

秋田県林業協会会長表彰
永年にわたり、上小阿仁村助役・副村長として、村政の発展に寄与されました。

【教育自治功労者】



鈴木 輝秋 氏

- ◇平成16年3月～平成24年3月
上小阿仁村教育委員
- ・表彰歴

全国市町村教育委員会連合会表彰
永年にわたり、上小阿仁村教育委員として、村の教育振興に寄与しました。

【民生功労者】



小林保太郎 氏

- ◇昭和41年7月～昭和47年7月
上小阿仁村農業委員会委員
- ◇昭和15年7月～昭和40年3月
上小阿仁村消防団第3分団団員
- ◇昭和40年4月～昭和47年5月
上小阿仁村消防団第3分団部長
- ◇昭和47年6月～昭和54年12月
上小阿仁村消防団第3分団副団長
- 永年にわたり、村農業委員会委員として、村の農業振興に寄与されました。また、村消防団副分団長として、村の防災、安全に寄与されました。

【私財寄付功労者】



士理士・税計士会認公
北林 孝雄 氏

上小阿仁村の若い世代が姉妹提携都市を訪問することで見聞を広め、地域社会に貢献できるように育つことを願い1000万円を寄付されました。

【交通安全功労者】



故 武石 多七 氏

- ◇昭和49年1月～平成13年12月
阿仁部交通安全協会上小阿仁支部下仏社地区班長
- ◇平成14年1月～平成19年12月
阿仁部交通安全協会上小阿仁支部理事

◇平成20年1月～平成23年8月
阿仁部交通安全協会上小阿仁支部副支部長

◇平成23年8月～平成24年8月
阿仁部交通安全協会上小阿仁支部支部長

◇平成18年4月～平成24年8月
上小阿仁村文化財保護審議会委員
長年にわたり、交通安全思想の高揚に寄与されました。

姉妹提携都市萬巒郷（台湾屏東県）との若い世代による交流に寄付金

12月13日、元上小阿仁村長、故北林孝市氏のご遺族である北林孝雄氏が北林英子氏と役場を訪れ、上小阿仁村に1000万円の寄付を行いました。

村のこれまでの地道な取り組みを継続できれば、本人にとって何よりの供養となると述べ、村の若い世代、青年男女が姉妹提携都市の萬巒郷を訪問し、視野を広げ、地域社会に貢献できるように育つことを願い、10年から20年かけて計画的に取崩し役立てていただきたいと寄付されました。

消防出初式

無火災への誓い、火災予防活動の強化

1月4日、新春恒例の上小阿仁村消防出初式が行われました。3分団、59名の消防団員が、沿道の住民が見守る中、小沢田集落内からトレーニングセンター前まで威風堂々の行進を披露しました。行進には北秋田市消防署上小阿仁分署の消防車、高規格救急車、各分団のポンプ車が続ぎ、花を添えました。団員の引き締まった表情で行進する姿に、無火災への誓いと消防団活動への強い意志が感じられました。



秋田県知事表彰

- ◆有功章
第三分団副分団長 大沢 義満
消防団長 北林 義高
- ◆永年勤続章（35年以上勤務）

式典では中田村長の式辞、北林団長の訓辞で、ともに団員の日頃の苦労たたえ、今後ますますの精進を激励しました。

このあと、今年度、大館北秋田地区中学生防火作文コンクールで最優秀賞に輝いた北嶋杏樹さんの作文が披露されました。秋田県知事表彰の伝達、退職、昇格等の辞令交付は次のとおりです。

第一分団班長 鈴木 金一
第一分団団員 原田 進

◆永年勤続章（30年以上）

第二分団班長 加賀谷和敏

◆永年勤続章（25年以上）

第三分団団員 佐藤 文隆
第二分団団員 小林 隆一
第三分団団員 武石 悟

◆永年勤続章（20年以上）

第三分団班長 大沢 勲
第一分団班長 鈴木 勝彦

秋田県消防協会 大館北秋田支部長表彰

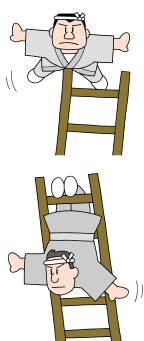
◆支部功労章
第三分団団員 原田 吉智

◆辞令交付

◆定年退職団員
第一分団分団長 高田 朝男
第二分団団員 小嶋 重明

◆昇格団員

第一分団分団長 山形 武夫
第一分団部長 高田 恒



平成24年度

大館北秋田地区中学生防火作文コンクール受賞生徒

秋田県消防協会大館北秋田支部長表彰

●最優秀賞

「火災を防ぐために」

北嶋 杏樹（上中2年）

●優秀賞

「火災防止について考える」

星 奈那（上中3年）

「火災を防ぐために」

鈴木 佳菜（上中3年）

●優良賞

「防火が大切」

小林 匡（上中2年）



放射線量定点測定結果

毎月第1月曜日、午前10時に役場駐車場で放射線量を測定しています。

結果は次のとおりです。

第9回定点測定（1月7日）
平均0.044マイクロシーベルト毎時

※測定結果は5回測定の平均値です。
※秋田県の通常レベル範囲は0.022〜0.086マイクロシーベルト毎時です。

元気いっぱい の保育園発表会



12月8日、かみこあに保育園の発表会が行われました。会場には、我が子の活躍する姿を楽しみに、大勢の家族が詰めかけ満員御礼となりました。

はじめに、少々緊張気味のゆり組男児が登場して「会場のみなさん、今日は、保育発表会にようこそお出でくださいました。みなさんに見ていただくことを楽しみに、歌、お遊戯、劇遊びなど一生懸命練習しました。元気な僕たちの発表を最後までごゆっくりご覧ください」とあいさつし、会場から大きな拍手を浴びて発表会が開会しました。

今年入園したばかりの小さな園児がステージに現れると、演技がなくとも、その愛くるしい笑顔に自然と会場が笑顔に包まれました。お兄ちゃん、お姉ちゃん園児のカッコイ踊りや、上小阿仁村の地名がでてるオリジナルストーリーの劇遊びなど、工夫を凝らした発表が披露されるたびに会場を沸かせ、園児一人ひとりが主役となり、大勢のカメラマンの的になっていました。

廊下には、園児の書いた絵や作品が展示され、我が子の作品を探しあて、感心していました。



第46回衆議院議員総選挙及び最高裁判所 国民審査の上小阿仁村開票区投票結果

12月16日に投票が行われた衆議院議員総選挙の小選挙区及び比例代表の本村投票率は、76・66%で、前回(平成21年8月の82・86%)に比べ、6・20ポイント低下しました。

秋田県の平均投票率は63・22%で、前回(平成21年8月の73・27%)に比べ10・05ポイント低下しました。

期日前投票率は、34・12%で、前回(平成21年8月の33・72%)に比べ、0・40ポイントアップしているため、投票日当日の悪天候(冷雨)が投票率低下に影響したのではないかと考えられます。

投票結果は次のとおりです。

- 小選挙区結果

当日有権者数	2,408人
投票総数	1,846票
有効投票数	1,782票
無効投票数	64票
- 立候補者得票数(届出順)

1 石田ひろし	192.741票
2 川口ひろし	587.256票
3 さとう邦靖	56票
4 かねだ勝年	946票

(小数点以下は按分による得票数)
- 比例代表結果

当日有権者数	2,408人
投票総数	1,846票
有効投票数	1,756票
無効投票数	90票
- 政党等得票数(届出順)

1 社会民主党	124票
2 公明党	243票
3 幸福実現党	3票
4 みんなの党	83票
5 自由民主党	601票
6 民主党	389票
7 日本共産党	64票
8 新党改革	11票
9 日本維新の会	180票
10 日本未来の党	58票
- 最高裁判所裁判官国民審査結果

当日有権者数	2,407人
投票総数	1,773票
有効投票数	1,726票
無効投票数	47票



地域活性化応援隊 日誌

③⑤ 水原編



あけましておめでとうござい
す、水原です。新たな一年のスタ
ートとなりました。皆様、温かな
正月を過ごされましたでしょうか。
八木沢の冬もいよいよ本格化し、
公民館もまるごとかまくらになっ
てしまいそうな勢いの降雪が続い
ています。

「一家に一台みずはらくん」
という感じで、重宝頂いておりま
す。

とはいえ、みずはらくんは一台限
定、例年通りでなくて舞いのフル
稼働。公民館に戻れば風呂は凍り、
解凍作業に追われる始末。

そんな風に自然の猛威にいいよ
うにされても、僕はこの季節が好
きです。一年前にも書いたことな
いですが、相変わらず変わってい
ない村の変わり者です。

目の前の白い世界を眺めながら
(無論寄せながら下ろしながら)
ちよつぱり哲学してみたり、ヘラ
スコップ、ダンブ、除雪機、トラ
クター…雪を寄せることに思っ
て、人々の進化と発明の歴史に
思いをはせる…

「アンタ論文でも書いた方がいい
んじゃないの？」
というぐらい脳内で変わった思考
を繰り広げながら、今日も明日も
雪を寄せます。…文章にしてみ
ると、また一段と変わっているの
が自分でもわかりますね。

もちろん、眼前の白で心無に
にし、ただひたすらに雪と戯れつ
つ、疲れた時には顔を上げ、水墨
画にも似た雄大な上小阿仁の景色
を楽しむ。そんな仙人のような楽

しみ方もオススメします。

どちらとも一般の皆様方に受け入
れられるかどうか、怪しいところ
ではあります。自分と向き合う
という点において、この季節がピ
ッタリということとは間違いない
んじゃないかと思えます。

そして何より、この冬の季節に
こそ、上小阿仁の皆さんの健康の
秘訣が隠れているように思えてな
りません。

上小阿仁に来て3年。病弱だっ
た自分がすっかり風邪をひかなく
なり、食生活は乱れに乱れている
ものの、健康体そのものに生まれ
変わりました。

寒い中体を動かし、だが決して
無理をせず、自然の流れの中に身
をゆだねる。おそらくは乾布摩擦
のような効果があるのかもしれない。
上小阿仁の子供からお年寄
りまで、健全な精神が宿っている
のは、雪が作った健全な肉体。
うん、論文が書けそうですね。

ですから一度、皆様方も時々思
い出していただきたい、今自分が
一生懸命寄せているその雪が、自
分の血肉になっっているんじゃない
だろうか、と。

それもまたきつと、豊かな自然
の恵みなのです。

終始雪の話になってしまいまし
たが、なんとなくまとまった気が
するので今回はこの辺で。
さあ、今年も一年楽しみまし
う、それでは！

母子健康手帳の交付について

■交付場所

住民福祉課 健康推進班

■交付日

平日 午前8時30分～午後5時15分まで

■内容 母子健康手帳、妊婦健康診査
受診券の交付、保健指導

■【お知らせ】

・20～30分程度時間がかかりますので、
時間に余裕をもっておいでください。
また、事前に電話連絡をお願いしま
す。
・保健指導を実施しているため、なる
べくご本人がおいでください。

●問い合わせ先

住民福祉課 健康推進班

こゑに電話 ⑧(77)3008
⑧(66)3009

子宮頸がん検診無料クー ポン券、乳がん検診無料ク ーポン券は利用しましたか？

24年度の子宮頸がん・乳がん検診無
料クーポン券をお持ちの方は、早めに
受診しましょう。

平成25年1月31日までに受診してく
ださい。健康な時こそ、がん検診を受
けましょう。

●問い合わせ先

住民福祉課 健康推進班

こゑに電話 ⑧(77)3008
⑧(66)3009

12月議会 定例会

行政報告(要旨)

平成24年度補正予算について

平成24年度一般会計補正予算は、介護保険事業特別会計繰出金など総額350万6千円の追加補正で、補正後の総額は25億5362万3千円となります。

特別会計(3会計)は、総額4869万7千円の追加補正で、補正後の総額は16億8534万6千円となります。

電算システムの共同化について

行政事務の執行に不可欠となった電算システムについては、制度改正のたびに多額の改修費用がかかるなど町村財政を圧迫してきました。

このため、町村会が事務局となり12町村で「秋田県電算共同化推進協議会」を設立し共同化のための取組みを進めてきました。その結果、住民情報を基にした住民記録や税、国保などの基幹系業務システムとそれと密接に連携するシステム、及び財務会計や人事給料等の内部情報系システムの併せて52業務を共同化することになりました。

この運用については、地方自治法に規定する一部事務組合により実施することになりました。

関東地区かみこあに会について

去る11月3日、足立区・東京マリアーヂュにおいて、第18回関東地区かみこあに会を開催しております。

会員をはじめ約120人が出席し、ふるさと談義で親睦を深め合いました。総会では役員改選が行われ、会長・古性重則氏が再選されております。

地域おこし協力隊について

八木沢集落の生活支援を中心に活動をしていただいている地域おこし協力隊は、11月19日をもって3年間の任期を終了しました。村では引き続き2人の隊員に年度内の来年3月31日まで活動をしていただくため、11月20日付けで「地域活性化応援隊」に委嘱いたしました。

交通安全関係について

10月26日に開催された第39回秋田県交通指導隊大会において、村交通指導隊隊員の古矢美穂氏(沖田面)が7年以上勤続優良隊員として表彰されました。長年にわたるご活躍に対し深く敬意を表します。

声かけサポーター研修について

昨年度から取り組んでいる声かけサポーター事業を、これまで5回開催いたしました。

いずれの研修会もたくさんの方の熱心な方々の参加となり、関心の高いことを認識させられております。参加者の方々には「見守りボランティア」として、声かけサポーターとなつていただいて、住民に声をかけ

ていただきたいと思っております。

こあにコールについて

月曜日から金曜日まで毎朝、8時15分に老人世帯等を対象に、こあに電話で問いかけをしております。

音声をまじえて配信をして、「はい」「いいえ」のボタンを押してもらうております。返事をいただくことで、毎日、安否確認をしながら返事の内容によっては、こちらから声をかけをさせていただいております。

水害等の災害の際にも同様の対応で、早期に安否確認ができればと考えております。

防災訓練について

大規模火災を想定した福館地区の防災訓練を11月11日に行いました。訓練は、防災計画に基づき、毎年、各集落を持ち回りで行っております。福館地区の住民、消防団、交通指導隊、消防協力婦人会など100余人の参加、協力で万が一の災害の際の広報、通信、初期消火、交通規制、火災防衛の訓練を行いました。

小型動力ポンプ消防車について

第3分団に11月20日に小型動力ポンプ付軽四輪駆動消防車を配備しました。20数年を経過し、修繕費もかかり、稼働の心配もあり、更新いたしました。同年代に配備となつている消防車がありますので、順次更新をしていく計画です。

稲作状況について

本年の稲作は、東北農政局の発表

によります作況指数で、秋田県の平均が100、県北は99と見込まれております。

なお、11月14日現在のJAあきた北央への米出荷数量は1俵60kg換算で1万5250俵が出荷され、昨年に比較して1298俵の減となっております。このうち1等米は98・06%で、良質米の生産実績になっております。

中山間地域農業活性化緊急基盤整備事業について

県営事業で整備する計画でありました八木沢地区の棚田に引水する用水路の整備は、県との協議により見合わせることにしました。

引水の源は、峰越しの国有林内にある浮内沢ですが、一帯の山林は保安林に指定されており、工事を施工するためには保安林指定を解除する必要があります。解除には申請書類作成などに多額の費用と長期間を要することと、事業要件として棚田の相当な面積に水稻を作付けしなければならぬため、要件を満たすのは困難なことから、本事業での整備は見合わせることにいたしました。

第35回上小阿仁村産業祭について

10月20日、21日の両日、健康増進トレーニングセンターを会場に産業祭を開催いたしました。

農産物やアイデア加工品など260点程の出展数でしたが、どれも見事な出来栄で、生産者の日頃のご

努力に敬意を表するとともに、開催にご協力をいただいた関係各位に感謝申し上げます。

間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定について

10月31日、東京都港区役所において上小阿仁村と港区との間で「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定書」に調印しました。

港区では、みなとモデル二酸化炭素固定認証制度により、区内において定められた延べ床面積以上の公共施設・民間建物の建築を行う場合、床面積に対し一定量の国産材を使用するよう努めなければならないと定めております。

今後、村では登録事業者の募集をおこないますが、協定締結により村の木材関連事業者への経済効果と、間伐などの実施による森林整備につながるものと期待しております。

沖田面字土産沢地区の立木販売について

沖田面字土産沢地区の台風の被害木と思われる立木10本を伐採し製材試験挽を行いました。製材工程において割れの生じた材はなく、台風の被害と思われる変色等が確認されませんでした。しかし、用途に応じた製品にはなることを確認しております。

立木の売り払いについては、12月中旬の入札会を予定しております。

下水道使用料の改定について

下水道使用料について、人口減少

により使用料が年々減少する中、施設の維持・更新の管理費用がかさみ、厳しい経営となつています。受益者の皆様には負担を強いることとなりますが、村としても使用料値上げと併せて、より一層の経費節減に努め、下水道事業の安定経営を目指してまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

沖田面地区簡易水道の一元化について

沖田面地区、小沢田地区については、一元化に向け話し合いを進めておりますが、沖田面地区については一元化の意向があり、平成24年11月19日付けで、沖田面部落会長から「簡易水道一元化について、沖田面地区加入条件の提案」として村に文書で提出されております。一元化のため提案されました条件について、現在検討しているところであり、村の考えをまとめて再度沖田面部落と協議したいと考えております。

進捗状況について、今後議会へ説明し、協議をしてまいりますのでご理解をお願いいたします。

住宅リフォーム緊急支援事業について

村の住宅リフォーム緊急支援事業については、11月20日現在、申請件数42件、申請額490万1千円となつております。

学校教育関係について

10月5日、平成25年度小学校入学

予定者を対象に健康診断が行われ、保護者には、教育委員会と学校から入学までの準備や心構えなどについて説明いたしました。

10月13日には、上小阿仁小中学校の学校祭、10月21日には、生涯学習発表会に参加し、小中学校による合唱を披露しました。

生涯学習・社会体育関係について

8月29日の教育委員会において、「八木沢マタギ狩猟用具」5点が上小阿仁村有形民俗文化財として指定されました。生涯学習週間に、郷土資料室において一般公開され、多くの村民の方々から好評を博しました。10月7日に第48回五城目・上小阿仁間駅伝競走大会が開催されました。沿道には多くの村民の方々が応援に出てくださり、心から感謝を申し上げます。

診療状況について

4月から10月までの診療状況は、医科外来が診療日数144日、患者数8348人、1日平均患者数58人で対前年比7人の減。歯科は診療日数139日、患者数1541人では前年並みとなっております。

また、医科外来のうち泌尿器科につきましては、診療日数23日、患者数414人、1日平均患者数18人で対前年比10人の増となっております。今後とも、村唯一の医療機関として運営に努力して参りますのでご理解をお願いいたします。

診療所医師について

10月12日から西村先生を診療所長にお迎えしましたが11月2日、健康上の理由により辞意を表明されました。これにより11月5日、村のホームページで常勤医師の公募を行うとともに日本医事新報でも公募を行っております。

後任の医師が見つかるまでは診療所長を努めるとのことでありましたが、11月19日に健康に障害を来し業務の遂行もできないため、11月15日付けで辞職したいとの辞表が診療所へフアクシミリで送信されてきました。11月22日から村の事情を察して、旧北秋中央病院名誉院長で前北秋田市長の岸部隆先生が診療にあたっております。

杉風荘関係

10月25日、歌川寿法一行様により26回目の舞踊慰問があり、ご利用者の皆様に大変喜んでいただきました。歌川寿法ご一行様には、感謝申し上げます。

11月15日付けで嘱託医の西村医師が退職されたことにより、五城目町「ささき内科クリニック」の佐々木力男先生にお願いしたところ、11月21日から引き受けていただけることになりました。先生には、急なお願いにもかかわらずご快諾いただき感謝申し上げます。

11月27日現在入所者数は86人で、上小阿仁村出身者が49人です。